

「輝いている自衛官」が道南地域で話題 オリジナル募集広報用ビデオで隊員募集

自衛隊函館地方協力本部（本部長 大石 徹郎 1等空佐）が自衛官募集広報用として作製したオリジナルビデオが道南地域で話題となっており、募集広報ツールとして効果を発揮している。

このビデオは、近年の少子・高学歴化、有効求人倍率の改善に伴う厳しい募集環境が継続する中、「地域に根差したオリジナル募集広報用ビデオが募集適齢者へのPRに有効ではないか」との発案により平成29年11月から約1ヶ月かけて同地本募集課募集班が主体となって作製したもの。企画・編集を同班長の田代清洋1等陸尉、撮影を同班の大羽賀康太事務官、中谷秀幸陸曹長、案内役として11月から函館地本に臨時勤務中の中澤沙悠楓空士長が担当した。

ビデオのコンセプトは「輝いている自衛官を探せ」

管内に陸・海・空自衛隊の駐屯地、基地が存在する函館地本の特性を活かし、募集適齢者により親近感を持って見てもらえるよう、道南の高校出身で現在陸海空自衛隊で活躍している20代の隊員を紹介。固いイメージを払拭するよう、ダーツで出身高校を選定するなど、バラエティー要素を取り入れ、親しみやすい構成となっている。

映像で登場するのは、陸自の衛生、海自の潜水、空自の給養の各職種において、自らの職務に誇りを持って勤務している「輝いている自衛官」。准看護師を目指し救急法訓練に励む女性自衛官、日本一の潜水土を目指し、真冬の海中で潜水作業を行う男性自衛官、調理師免許取得を目標に日々約百数十名分の給食調理・事務を行う女性自衛官等の日々の訓練・勤務中の映像、居住している隊舎、志願のきっかけや今後の目標・抱負を聞くインタビューを紹介している。

「地域に根差したオリジナル広報用ビデオ」の反響は大きく、函館市とその周辺地域で発行される日刊地方紙「函館新聞」に12月25日付で紹介された他、道南地域に約4万世帯の視聴者がある地域ケーブルTV「NCV」も取材に訪れ、平成30年1月22日から26日までの1週間、ローカルニュース枠で毎日5回放送される等、地方メディアに大きく取り上げられた。

映像を見た視聴者からは「自衛隊は銃を持って走り回っているイメージがありましたが、救急救護や給食の職種があることに驚きました」「他の職種の日々の姿も見たい」との声が寄せられている他、出演隊員出身高校の進路担当教諭から「進路指導の教材に使いたい」との問い合わせが相次ぐ等、年明けからメディア紹介の波及効果が現れている。

企画・編集担当の田代1尉は「募集の最前線で活動する広報官から、「既製の自衛隊募集広報用ビデオは精強性のアピールが強すぎて、昨今の募集適齢者から、自分には無理と敬遠される傾向がある。同年代の隊員への親しみやすさや仕事へのやり甲斐をアピールできる募集広報用ビデオが欲しい」との声が寄せられており、その要望に応えた形のビデオが出来たと思います。昨今の厳しい募集環境下では前年度の踏襲では時代の変化に対応できないのは身に染みて感じているところです。新しいチャレンジであるオリジナルビデオ作製を皮切りに「伝統にプラス1」の精神で新しい試みにチャレンジしていきたい」と抱負を語っていた。

函館地本では、今回作製したオリジナル募集広報ビデオの好結果を踏まえ、第2弾を企画中である。



地域ケーブルTVの取材を受ける案内役の中澤沙悠楓（さゆか）空士長



オリジナルビデオを作製した函館地本募集課募集班
左から中谷陸曹長、中澤空士長、田代1等陸尉、大羽賀事務官